

精神神経科学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Yoshikawa Y, Kobayashi H, Sakai N, Ishiguro H, Kumazaki H: Therapeutic potential of robots for people who stutter: a preliminary study. *Frontiers in psychiatry* 15: 1298626, 2024. doi: 10.3389/fpsy.2024.1298626.
2. Konishi S, Kuwata M, Matsumoto Y, Yoshikawa Y, Takata K, Haraguchi H, Kudo A, Ishiguro H, Kumazaki H: Self-administered questionnaires enhance emotion estimation of individuals with autism spectrum disorders in a robotic interview setting. *Frontiers in Psychiatry* 15: 2024. doi: 10.3389/fpsy.2024.1249000.
3. Yoshimura Y, Mitani Y, Ikeda T, Tanaka S, Suda M, Yaoi K, Hasegawa C, An K, Iwasaki S, Kumazaki H, Saito D, Ohta H, Ando A, Cho K, Kikuchi M, Wada T: Language and sensory characteristics are reflected in voice-evoked responses in low birth weight children. *Pediatric Research* : 2024. doi: 10.1038/s41390-024-03270-9.
4. Kanchi N, Kawata M, Yoshikawa Y, Baba A, Miyashita T, Ishiguro H, Kumazaki H: The potentiality of telepsychiatry using a teleoperated robot for a patient with alcohol abuse on an isolated island. *PCN reports : psychiatry and clinical neurosciences* 3(3): e230, 2024. doi: 10.1002/pcn5.230.
5. Kawahara H, Kanchi N, Kawata M, Yoshikawa Y, Baba J, Muramatsu T, Ishiguro H, Kumazaki H: Training potential of a teleoperated humanoid robot for use by a young psychiatrist during childcare leave. *Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports* : 2024. doi: 10.1002/pcn5.70008.
6. Imaizumi T, Lu L, Nishikawa N, Kumazaki H, Ueda K: Similarities in Face Recognition between Deep Learning and Autism Spectrum Disorders. *Proceedings of the 12th International Conference on Human-Agent Interaction* : 344-346, 2024. doi: 10.1145/3687272.3690876.
7. Ohmoto Y, Terada K, Shimizu H, Kawahara H, Iwanaga R, Kumazaki H: Machine learning's effectiveness in evaluating movement in one-legged standing test for predicting high autistic trait. *Frontiers in psychiatry* 15: 1464285, 2024. doi: 10.3389/fpsy.2024.1464285.
8. Kumazaki H: Cybernetic Avatar. : 2024. doi: 10.1007/978-981-97-3752-9.

B 邦文

B-b

1. 山本直毅, 森本芳郎, 今村 明, 熊崎博一: 高リスク、あるいは低リスクのギャンブル行動についての示唆的考察 長崎県の令和2年度調査を踏まえて. *精神神経学雑誌 (2024特別号)*: S565, 2024.
2. 清水日智, 川原紘子, 大橋愛子, 寺田和憲, 岩永竜一郎, 熊崎博一: 自閉スペクトラム症児の感覚特性と睡眠に関する全国調査 感覚特性に基づく介入の重要性. *精神神経学雑誌 (2024特別号)*: S402, 2024.
3. 今村 明, 山本直毅, 疋田 琳, 徳永瑛子, 岩永竜一郎, 熊崎博一: こどもの自殺をめぐる ネット環境と自殺. *精神神経学雑誌 (2024特別号)*: S304, 2024.
4. 谷保康一, 熊崎博一: 【感覚をめぐる子どもの困りごと】自閉スペクトラム症(ASD)と感覚 ASD児の嗅覚と困りごと. *こころの科学 (235)*: 37-41, 2024.
5. 加藤隆弘, 松島敏夫, 吉川雄一郎, 熊崎博一: ひきこもりの現在の状況と今後の支援のあり方を検討する ひきこもり支援にコミュニケーションロボットやアバターは有用か?. *日本社会精神医学会雑誌* 33(1): 63-69, 2024.
6. 今村弥生, 内田直樹, 大塚俊弘, 中村雅之, 熊崎博一: 地域医療と科学技術の共生. *日本社会精神医学会雑誌* 33(1): 44-52, 2024.
7. 熊崎博一, 吉川雄一郎: 【薬物療法を活かす非薬物療法の新たな展開】精神科領域におけるロボット治療開発. *臨床精神薬理* 27(1): 45-52, 2024.
8. 熊崎博一: 自閉スペクトラム症と認知症. *メディカルビューポイント* 45(1): 2024.
9. 夏山竜一, 大橋愛子, 冠地信和, 田山達之, 熊崎博一: アセナピンマレイン塩酸塩の口腔内投与により接触性皮膚炎を生じた症例の共有. *九州神経精神医学* 69(2): 84, 2024.
10. 手島由利恵, 冠地信和, 大橋愛子, 田山達之, 中野 健, 辻野 彰, 熊崎博一: 歩行障害を伴う認知症との鑑別を要した, 中等度うつ病の一例. *九州神経精神医学* 69(2): 75-76, 2024.
11. 小川美里, 冠地信和, 川田 恵, 吉川雄一郎, 酒井和紀, 内海 章, 宮下敬宏, 李晃 伸, 谷口大輔, 塚崎 稔, 石黒 浩, 熊崎博一: 統合失調症患者の社会参加支援の可能性が広がるアバターシステムの開発についての予備的研究. *日本社会精神医学会プログラム・抄録集* 42nd: 2024.
12. 冠地信和, 川田 恵, 吉川雄一郎, 馬場 惇, 宮下敬宏, 石黒 浩, 麻生有二, 熊崎博一: 離島で実施した, 遠隔操作型ロボットによる精神科診療支援の2症例. *日本社会精神医学会プログラム・抄録集* 42nd: 2024.
13. 福井峻太, 湯口彰重, 松本吉央, 熊崎博一, 岡留有哉: ASD者向けの文脈の考慮も可能な自律型雑談対話アンドロイドロボットシステム. *日本ロボット学会学術講演会予稿集(CD-ROM)* 42nd: 2024.

14. 中村康司,冠地信和,大橋愛子,田山達之,大塚寛朗,來留島章太,熊崎博一: 統合失調症との鑑別に難渋したSLEの一例. 日本精神神経学会総会プログラム・抄録集 120th: 2024.
15. 夏山竜一,大橋愛子,田山達之,冠地信和,熊崎博一: 不眠,幻視等を呈した女兒に対して,精神科リエゾン介入により可逆性後頭葉白質脳症の発見に寄与した症例. 日本精神神経学会総会プログラム・抄録集 120th: 2024.
16. 手島由利恵,冠地信和,中村康司,大橋愛子,田山達之,吉村俊祐,熊崎博一: 多彩な精神症状を呈した抗NMDA受容体抗体陽性の抗MOG抗体関連疾患の皮質性脳炎. 日本精神神経学会総会プログラム・抄録集 120th: 2024.
17. 冠地信和,川田 恵,吉川雄一郎,馬場 惇,宮下敬宏,石黒 浩,麻生有二,熊崎博一: 遠隔操作型ロボットを用いた離島診療支援の予備的研究. 日本精神神経学会総会プログラム・抄録集 120th: 2024.
18. 小川実里,冠地信和,川田 恵,吉川雄一郎,酒井和紀,内海 章,宮下敬宏,李晃 伸,谷口大輔,塚崎 稔,石黒 浩,熊崎博一: 初対面の場における発達障害者の対人スキル向上のためのアバター活用社会参加支援の実践. 日本精神神経学会総会プログラム・抄録集 120th: 2024.
19. 高尾彰哉,冠地信和,岩永 健,田山達之,熊崎博一: 短期的かつ集中的な入院による依存症治療が奏効した1例. 九州精神神経学会・九州精神医療学会プログラム・抄録集 76th-69th: 2024.
20. 城田理恵,大橋愛子,田山達之,冠地信和,熊崎博一: 20年間うつ病と診断されていた双極性障害に対し炭酸リチウムが著効した1例. 九州精神神経学会・九州精神医療学会プログラム・抄録集 76th-69th: 2024.
21. 佐藤志帆,冠地信和,越智恵子,井上昂治,河原達也,谷口大輔,塚崎 稔,吉川雄一郎,熊崎博一: 精神科デイケアでのヒューマノイドロボットを介した対話プログラムの実践報告. 日本社会精神医学会プログラム・抄録集 42nd: 2024.
22. 大石佳奈,冠地信和,川田 恵,吉川雄一郎,酒井和紀,谷口大輔,塚崎 稔,石黒 浩,熊崎博一: アルコール依存患者へのCGロボット(CGCommU)を用いたオンライン対話の有用性についての研究. 日本社会精神医学会プログラム・抄録集 42nd: 2024.
23. 熊崎博一: 「ロボットだからこそ可能な発達障害者支援」. 日本作業療法研究学会雑誌 27(1): 2024.
24. 岩永 健,早川航一,熊崎博一: リチウム中毒後に構音障害が残存したSILENTを発症し,リハビリにより改善を認めた一例. 総合病院精神医学 36(Supplement): 2024.
25. 木下裕久,松尾昂尚,亀山明正,川口 哲,柴田和英,黒滝直弘,本田純久,小澤寛樹,熊崎博一,中道聖子: 雲仙普賢岳噴火災害ストレス長期経過と老年期の感情障害,認知症との関連についての診療録調査. 日本精神科診断学会プログラム・抄録集 43rd: 2024.
26. 熊崎博一: 自閉スペクトラム症者のprosodyに着目する理由. 日本精神神経学会総会プログラム・抄録集 120th: 2024.
27. 大橋愛子,田山達之,熊崎博一: 重症遷延性神経性やせ症で治療に難渋した2症例. 日本精神神経学会総会プログラム・抄録集 120th: 2024.
28. 熊崎博一: デジタル技術を用いたうつ病患者支援. 日本精神神経学会総会プログラム・抄録集 120th: 2024.
29. 加藤隆弘,松島敏夫,松尾敬太郎,吉川雄一郎,熊崎博一: ロボット面接導入により転移・逆転移から解放される未来の精神医療. 日本精神神経学会総会プログラム・抄録集 120th: 2024.
30. 熊崎博一: 長崎県での遠隔操作ロボットを用いた精神科患者支援. 日本精神神経学会総会プログラム・抄録集 120th: 2024.
31. 熊崎博一: 最新のテクノロジーを用いたギフト特性を考慮した精神科患者支援. 日本精神神経学会総会プログラム・抄録集 120th: 2024.
32. 熊崎博一: 精神科治療を目指したロボット研究の現状. 日本精神神経学会総会プログラム・抄録集 120th: 2024.
33. 瀬田稀介,大本義正,熊崎博一,岩永竜一郎,今村 明,清水日智,寺田和憲: 片足立ちにおける足底圧分布と姿勢角度に基づいた粗大運動評価モデルによるASD傾向分類. 日本認知科学学会大会発表論文集(CD-ROM) 41st: 2024.
34. 山本博暉,大本義正,熊崎博一,岩永竜一郎,今村 明,清水日智,寺田和憲: LSTMを用いた時系列筆跡データからのASD識別特徴抽出. 日本認知科学学会大会発表論文集(CD-ROM) 41st: 2024.
35. 熊崎博一: 私の治療 自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害(ASD). 週刊日本医事新報 (5246): 2024.
36. 住岡英信,大和信夫,東山康仁,熊崎博一,塩見昌裕: 異なる介護サービス環境における赤ちゃん型対話ロボットへの印象に関する事例比較調査. 日本ロボット学会学術講演会予稿集(CD-ROM) 42nd: 2024.
37. 熊崎博一: うつ病治療におけるデジタル技術の活用. 日本うつ病学会総会プログラム・抄録集 21st: 2024.
38. 竹田優那,瀬田稀介,大本義正,熊崎博一,岩永竜一郎,今村 明,清水日智,寺田和憲: LSTMネットワークを用いたASD児と定型発達児の身体バランスの時系列予測比較. 人工知能学会全国大会論文集(Web) 38th: 2024.
39. 藤井俊輔,滝 之弥,吉田温登,西川菜月,小森政嗣,植田一博,加藤邦人,原 武史,熊崎博一,寺田和憲: 目玉焼きの質感を決定づける潜在空間上の効用関数を用いた自閉スペクトラム症者と定型発達者の感覚処理特性の比較. 人工知能学会全国大会論文集(Web) 38th: 2024.
40. 瀬田稀介,大本義正,熊崎博一,岩永竜一郎,今村 明,清水日智,寺田和憲: ASD診断の効率化に向けた粗大運動評価モデルによる分類. 電子情報通信学会技術研究報告(Web) 124(19(HCS2024 1-33)): 2024.
41. 本田秀仁,熊崎博一,植田一博: 不確実性理解に基づく意思決定 自閉スペクトラム症者と定型発達者の比較に基づく個人差の分析. 日本心理学会大会発表抄録集 87th: 2024.

42. 前田洋佐,前田沙和,大西祐美,秋吉拓斗,住岡英信,熊崎博一：ロボットとの対話を通じて思考を整理するプログラムの,統合失調症患者に対する効果. 日本社会精神医学会プログラム・抄録集 42nd: 2024.
43. 秋吉拓斗,住岡英信,熊崎博一,中西惇也,大西祐美,前田洋佐,前田沙和,加藤博一,塩見昌裕：精神科デイケアにおける思考整理を支援する対話ロボットの評価. 日本社会精神医学会プログラム・抄録集 42nd: 2024.
44. 熊崎博一：バーチャルリアリティ技術を用いた発達障害者支援. 日本社会精神医学会プログラム・抄録集 42nd: 2024.
45. 熊崎博一：児童精神医学にデジタル診療が果たす役割. 日本社会精神医学会プログラム・抄録集 42nd: 2024.
46. 熊崎博一：最新のテクノロジーを用いたギフトドを有する方への支援. 児童青年精神医学とその近接領域 65(1): 2024.
47. 熊崎博一：デジタル医療を用いた精神科診療の可能性. 産業精神保健(Web) 32(Supplement): 2024.
48. 今泉 拓,LI Lu,西川菜月,熊崎博一,植田一博：深層学習と自閉症スペクトラム者の顔認識は似ているのか?FaceNetを例にして. 人工知能学会全国大会論文集(Web) 38th: 2024.
49. 熊崎博一,吉川雄一郎：薬物療法を活かす非薬物療法の新たな展開 精神科領域におけるロボット治療開発. 臨床精神薬理 27(1): 2024.

B-c

1. 本田秀夫：神経発達症群. 中山書店：2024.
2. 金生由紀子：発達障害Q&A：臨床の疑問に答える104問. 医学書院：2024.
3. 尾崎紀夫,三村 将,水野雅文,村井俊哉,明智龍男：標準精神医学. 医学書院：2024.
4. 本田秀夫：神経発達症群. 中山書店：2024.
5. 岩永竜一郎,辻井正次：不器用・運動が苦手な子の理解と支援のガイドブック：DCD(発達性協調運動症)入門. 金子書房：2024.
6. 内山登紀夫：こころの科学2024年5月号 通巻 235号 【特集】感覚をめぐる子どもの困りごと. 日本評論社：2024.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
1	1	9	7	9	36

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
熊崎博一・教授	編集委員	日本社会精神医学会
熊崎博一・教授	国際学会連絡・国際交流基金運営委員会	日本児童青年精神医学会
熊崎博一・教授	評議員	日本社会精神医学会
熊崎博一・教授	会長	長崎県自殺対策連絡協議会
熊崎博一・教授	会長	長崎県精神保健福祉協会
熊崎博一・教授	会長	長崎県精神保健福祉審議会
熊崎博一・教授	プログラム委員	第64回日本児童青年精神医学会総会
熊崎博一・教授	評議員	日本精神医学史学会
熊崎博一・教授	会長	長崎県精神科救急医療システム連絡調整委員会
熊崎博一・教授	会長	長崎県精神医療審査会
熊崎博一・教授	代議員	日本認知行動療法学会
熊崎博一・教授	評議員	日本精神科診断学会
熊崎博一・教授	編集委員	日本総合病院精神医学会
熊崎博一・教授	代議員	日本精神神経学会
熊崎博一・教授	医療政策委員	総合病院精神医学会

熊崎博一・教授	理事	九州精神神経学会
熊崎博一・教授	用語委員	日本小児精神神経学会
熊崎博一・教授	代議員	日本小児精神神経学会
熊崎博一・教授	編集委員	日本小児精神神経学会
熊崎博一・教授	Editorial Board	Autism Research
清水日智・助教	プログラム委員	第134回日本小児精神神経学会総会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研 究 題 目
熊崎博一・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(A)「発達障害学生のオンライン授業における複数ロボットによる支援システムの開発」
熊崎博一・教授	科学技術振興機構	分担	ムーンショット型研究開発事業 発達障害・うつ病患者実証実験研究「誰もが自在に活躍できるアバター共生社会の実現」
熊崎博一・教授	国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）	分担	CREST マルチタスクAIによる5歳児協調健診の大規模実験と実稼働「納得感のある人間-AI協調意思決定を目指す信頼インタラクションデザインの基盤構築と社会浸透」
熊崎博一・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「認知バイアスから自閉症者の行動を探索：自閉症者の診療場面における説明再考に向けて」
熊崎博一・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(A)「ひきこもりの生物心理社会的病態理解に基づく多元的な支援法開発」
熊崎博一・教授	科学技術振興機構	分担	戦略的な研究開発の推進 未来社会創造事業 探索加速型 「数理的な社会情動能力の発達を促進するAIエージェントシステムの開発」
熊崎博一・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽)「発達障害者の自己意思決定を支援するマルチロボット連携システムの開発」
熊崎博一・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 学術変革領域研究(A)「自閉スペクトラム症児の深奥質感認識における経時的変化と個人因子との関係の解明」
熊崎博一・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(A)「エモーショナルAI：価値を持つAIと人の感情的インタラクションの多面的理解」
熊崎博一・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(A)「内省支援アバター空間の開発と発達障害者の社会性発達支援への応用」
熊崎博一・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 学術変革領域研究(A)「精神障害者の多様な知覚クオリアに影響する個人因子の解明」
熊崎博一・教授	厚生労働省	分担	厚生労働科学研究費 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築における情報通信機器を用いた精神療法の活用に向けた研究」
山本直毅・助手	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「自閉スペクトラム症の痛覚・温冷覚における感覚処理パターンの同定」
浦島佳代子・助教	日本学術振興会	代表	若手研究「トポロジカルデータ解析を用いた神経精神ループスの診断精度向上のための臨床研究」
清水日智・助教	日本学術振興会	代表	自閉スペクトラム症児の睡眠・行動障害にアデノシンシグナルが与える影響の解明
清水日智・助教	昭和大学発達障害医療研究所	分担	自閉スペクトラム症児の睡眠障害に関連する感覚特性とアデノシンシグナル関連遺伝子の網羅的解析

特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
浦島佳代子・助教	頭部MR I による神経精神ループスの診断支援	2022年2月17日	日本特許出願中	-
浦島佳代子・助教	SUPPORT FOR DIAGNOSIS OF NEUROPSYCHIATRIC SLE BY MEANS OF HEAD MRI	2023年8月24日	PCT出願出願中（米国、中国、欧州）	-

その他

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
熊崎博一・教授	精神医療でのロボ活用	KTNテレビ長崎	2024年4月23日	長大精神科が独自で取り組んでいる精神科医療におけるロボット治療の有用性について説明した。
熊崎博一・教授	安心して心を開ける存在に精神医療にロボットを活用 健診や遠隔診療にも	FNNプライム	2024年5月7日	長大精神科が独自で取り組んでいる精神科医療におけるロボット治療の有用性について説明した。
熊崎博一・教授	早期発見・治療が重要な認知症	朝日新聞	2024年6月28日	認知症を早期発見・治療する意義について説明した。

学術賞受賞

氏名・職	賞 の 名 称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
熊崎博一・教授	HAIシンポジウム2024 Outstanding Research Award優秀論文賞	HAIシンポジウム2024	研究内容が卓越していたから
熊崎博一・教授	Best Paper Award	International Academy, Research, and Industry Association	研究内容が卓越していたから
熊崎博一・教授	言語・音声理解と対話処理研究会（SIG-SLUD）優秀賞	人工知能学会 言語・音声理解と対話処理研究会	研究内容が卓越していたから
田添健裕・医員	優秀発表賞	第65回日本児童青年精神医学会	研究内容が卓越していたから
小川実里・修練委	優秀発表賞	第120回日本精神神経学会総会	研究内容が卓越していたから